

平成29・30年度 名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))1/2

- 台風の接近に伴い名古屋駅地区の地下街が、浸水することによる人的被害、施設被害等を軽減するため、名古屋駅地区の地下街等管理者が行うべき防災行動を地下街等管理者と行政機関が連携して平成29年度にとりまとめた。
- 共通行動項目としては、①浸水防止対策、②早期退出の促進、③営業に係わる判断、④地下街等管理者(テナント含む)の完全退避から構成されており、気象・河川情報や名古屋市が地下街等管理者に提供する情報を踏まえて実施する。

庄内川の決壊による浸水想定

3つのポイント



名古屋駅における浸水イメージ

<ハザード>

- 名古屋直撃型の台風を想定
- 確率規模1/200の降雨
- 庄内川左岸が決壊

①4つの共通行動項目

1 浸水防止対策

→河川氾濫の前に想定される内水氾濫に備え、地下街等の入口に止水板や土のうを設置。

2 早期退出の促進

→館内アナウンス等を活用し、来街者の地下空間からの早期退出を促進。

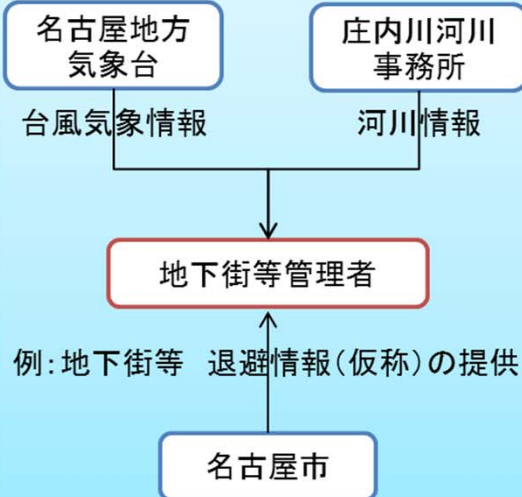
3 営業に係わる判断

→営業の継続について検討・判断。営業停止後には地下通路の閉鎖も実施。

4 地下街等管理者の完全退避

→営業停止後、最終的に地下街等管理者(テナント含む)が地下空間から完全退避。

②情報共有による関係者間の連携



③早目の判断

台風気象情報

翌日以降に愛知県西部で東海豪雨を超える降雨が予測された場合



地下街等管理者

・翌日営業中止の検討開始

※これ以降、台風気象情報、河川情報、名古屋市から提供される情報を踏まえ、地下街等管理者の完全退避まで実施

平成29・30年度 名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))2/2

期待される効果

